

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成26年11月6日 (2014.11.6)

【公開番号】特開2013-89993(P2013-89993A)

【公開日】平成25年5月13日 (2013.5.13)

【年通号数】公開・登録公報2013-023

【出願番号】特願2011-225717(P2011-225717)

【国際特許分類】

H 0 3 F 1/32 (2006.01)

H 0 3 F 3/189 (2006.01)

H 0 3 F 3/24 (2006.01)

H 0 4 B 1/04 (2006.01)

【F I】

H 0 3 F 1/32

H 0 3 F 3/189

H 0 3 F 3/24

H 0 4 B 1/04 R

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月19日 (2014.9.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

入力信号を電力増幅して出力する高周波電力増幅器の各次数の奇対称歪補償信号を生成する奇対称歪補償信号生成回路と、

生成した各次数の奇対称歪補償信号を入力信号に重畳する奇対称歪補償信号重畳回路と

を有する歪補償回路において、

前記入力信号の振幅と前記入力信号の 1 サンプル前の信号となる前記高周波電力増幅器の出力から分配された信号との振幅の差分と、前記入力信号の位相と前記入力信号の 1 サンプル前の信号となる前記高周波電力増幅器の出力から分配された信号との位相の差分を求め、前記振幅の差分と前記位相の差分とから偶対称の振幅の歪補償信号と偶対象の位相の歪補償信号とを生成する偶対称歪補償信号生成回路と、

前記偶対称歪補償信号生成回路で生成した偶対称歪補償信号を前記入力信号に重畳する偶対称歪補償信号重畳回路と、

を有することを特徴とする歪補償回路。

【請求項 2】

入力信号を電力増幅して出力する高周波電力増幅器の各次数の奇対称歪補償信号を生成する奇対象歪補償信号生成回路と、

生成した各次数の奇対称歪補償信号を入力信号に重畳する奇対象歪補償信号重畳回路と

を有する歪補償回路において、

前記入力信号の振幅と前記入力信号の 1 サンプル前の信号となる前記高周波電力増幅器の出力から分配された信号との振幅の差分を前記入力信号と乗算し第一の信号を生成し、前記入力信号の位相と前記入力信号の 1 サンプル前の信号となる前記高周波電力増幅器の

出力から分配された信号との位相の差分を前記入力信号と乗算し第二の信号を生成し、前記第一の信号と前記第二の信号とを加算することで偶対称歪を生成する偶対称歪補償信号生成回路と、

前記偶対称歪補償信号生成回路で生成した偶対称歪補償信号を前記入力信号に重畳する偶対称歪補償信号重畳回路と、

を有することを特徴とする歪補償回路。

【請求項 3】

高周波電力増幅器を備えた送信装置であって、請求項 1 乃至請求項 2 の歪補償回路を有することを特徴とする送信装置。